

横川の 豊かさを 未来に。

横川で
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA



横川地区 地域ビジョン

平成31年3月

横川地区まちづくり協議会

目 次

1	地域ビジョン策定の方針	1
2	横川地区の歩みと今	2
3	横川地区まちづくり協議会の歩み	4
4	横川地区の魅力（アンケートから）	8
5	横川地区の問題点（アンケートから）	10
6	地域ビジョン重点項目	12
	（1）自然を守る	13
	（2）伝統・文化を守る	14
	（3）子ども・青少年の健全育成	15
	（4）「心」と「体」を豊かにする教育と生涯学習の推進	16
	（5）地域コミュニティの強化	17
	（6）健康の増進・福祉の充実	18
	（7）地域の安全・安心の確保	19
	（8）くらしやすさに向けた交通手段の充実	20
	（9）魅力ある農産物の地産地消の推進	21
7	地域ビジョン実践への提言	22
8	参考資料	23
	・住民アンケートの結果	
	・横川地区地域ビジョン策定の経緯	
	・横川地区地域ビジョン策定委員会名簿	

1

地域ビジョン策定の方針

策定の方針

- 1 このビジョンは、横川地区を住んでいてよかったと思える、活気あふれるまちにするために、将来（おおむね10年後）の目標や重点課題を定めるものです。地域ビジョンの策定期間は、平成28年度から平成30年度の3か年です。
- 2 地域ビジョンの策定に当たっては、地域住民のまちづくりに対する意識等を知ることが大切であることから、住民アンケートを実施いたします。
- 3 地域ビジョン策定を効果的に行うため、横川地区まちづくり協議会内に設置した「横川地区地域ビジョン策定委員会」において、住民アンケート等を基に、住民の意見や、要望等を取りまとめ、総合的に将来の目標や事業計画等を策定します。

目標年次

完成年次の概ね10年後（2029年）の横川地区の姿を目標に掲げています。

地域ビジョンの位置づけ

自分たちのまちは自分たちで作る「住民主体のまちづくり」を基本として行政等との協働により、横川地区が目指すべき姿を実現するための指針とするものです。



2

横川地区の歩みと今

1 横川地区のあゆみ

豊かな水と肥沃な大地に恵まれた横川地区は、いにしへの昔から人々が営々と歴史を積み重ねて発展してきました。古くは宇都宮氏領横田郷として繁栄し、江戸時代には徳川幕府の代官領となり、明治時代に入ってから本格的な開墾が行われ、老農篠崎重五郎の品種改良横川麦酒組合の設立、農地整理事業など農事改良に力が注がれました。

明治22年には、市町村制度が施行され、田川や江川沿線地帯を中心に発展してきた屋板、東川田、上横田、東横田、台新田、江曾島、砂田、猿山新田、下栗、平松の10か村が合併し横川村となり、その後、昭和29年の市町村合併により宇都宮市に合併しました。「横川」の地名は、南部の東横田の「横」と北部の東川田の「川」をとって命名されたといわれています。

2 横川地区の今

(1) 位置、面積、人口

横川地区は、市の南部に位置し、東西3.5 km、南北5.5 km、面積18,553 km²を有しています。人口は、平成30年3月末現在、約3万6千人、世帯数は約1万6千世帯となっており、それぞれ宇都宮市の約7%を占めています。年齢別人口では平成30年3月現在、40歳未満がほぼ半数を占める若い世代が集まった地区といえます。

横川地区は、大きく東部、中部、西部に分けられ、東部は平松本町、さるやま団地などを中心とした住宅地、中部は県道宇都宮結城線沿いと周辺の田園地帯、西部は国道4号、JR宇都宮線沿いの住宅地、商業地となっています。

(2) 農業

横川地区の平成27年2月現在の農家戸数は361戸、耕地面積は463haとなっており、中央部を流れる田川沿いには優良な農地が広がり、稲作を中心にいちご、トマト、食肉用和牛等の生産が盛んです。

(3) 商工業

商業においては、横川地区の砂田町、雀宮地区の中島町、上三川町にまたがるエリアに都市再生機構が複合型工業流通団地「インターパーク宇都宮南」を施工し、商業地域としての新しい様相を見せています。この地区は宇都宮環状線、新国道4号、北関東自動車道宇都宮上三川ICもあるなど交通至便な地区であるため、郊外型の大規模ショッピングセンターを筆頭に、ホームセンター、家電量販店、ドラッグストアなど多種多様な商業施設が次々と進出しています。これらの施設の駐車場収容台数は、地区全体で1万台以上に達し、北関東最大の郊外型商業施設集積地区となっています。

工業においては、横川地区は、清原、本庁、河内地区に次いで4番目の製造品出荷額を占め、主要な企業として㈱ミットヨ、㈱SUBARUなどがあります。



3

横川地区まちづくり協議会の歩み

1 まちづくり協議会の目的と事業内容

(1) 目的

まちづくり協議会は、横川地区内の自治会、各種機関及び団体間の連絡調整を図り、必要な実践活動を通して、地域の活性化と住民の福祉の向上に寄与することを目的としています。

(2) 事業内容

まちづくり協議会の事業としては、目的の達成のために次の事業を掲げています。

- ① 地域振興の推進に関する調査研究、企画立案及び実践
- ② 地域振興策及び横川地区内の諸問題解決のための連絡調整、合意形成
- ③ 行政施策の地域への効果的反映方策についての提言や要請
- ④ 関係機関、団体相互間の情報交換及び連絡調整
- ⑤ その他地域振興、住民福祉に関する事業の総合的推進

2 これまでの主な事業実績（地域振興推進協議会期を含む）

太字は新規事業

年 度	事 業 内 容
平成14年度	・ 横川地区地域振興推進協議会設立 ・ 横川ふれあいまつりの開催 ・ 地域づくり講演会の開催 テーマ「協働のまちづくり」
平成15年度	・ 地域ホームページ「よこかわの風」の開設 ・ 横川ふれあいまつりの開催 ・ 横川村誌の復刊 ・ 地域づくり講演会の開催

年 度	事 業 内 容
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりワークショップの開催 ・地域と家族のふれあい歩け歩け大会の開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・地域づくり講演会の開催 テーマ「地域通貨ってなあに？」 ・防災マップの作成
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と家族のふれあい歩け歩け大会の開催 ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「地域のこどもを守ろう」
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と家族のふれあい歩け歩け大会の開催 ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・防災講演会の開催 テーマ「島原の教訓より～職場・家庭でも日頃の準備を」 ・まちづくり懇談会の開催
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・横川地区地域振興推進協議会を「横川地区まちづくり協議会」と改称 ・地域と家族のふれあい歩け歩け大会の開催 ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「人の輪で守れ～地域の安全」 ・ふれあいコンサートの開催
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・歩け歩け大会「よこかわ小さな旅」の開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「落語で学ぼう悪質商法」 ・ふれあいコンサートの開催
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「サイクルスポーツを通じたまちづくり」 ・ふれあいコンサートの開催

年 度	事 業 内 容
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「真のサイクルシティとは」 ・ふれあいコンサートの開催
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「地域内交通を考える」 ・ふれあいコンサートの開催
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通運営委員会の設立 ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・よこかわいきいき号の運行開始 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「横川の魅力を再発見しよう」 ・ふれあいコンサートの開催 ・地域ビジョン検討部会の設立
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「なぜ自分たちのまちは自分たちでつくらなければならないのか」 ・ふれあいコンサートの開催
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 ・ふれあいコンサートの開催
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・まちづくり懇談会の開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「まちづくりの魅力について」 ・ふれあいコンサートの開催 ・地域ビジョン策定委員会の設立

年 度	事 業 内 容
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョン策定の開始 ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・環境部会設立 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「まちなか活性化はなぜ必要か～地域ビジョン策定のヒントとして」 ・ふれあいコンサートの開催
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「カラスと野生動物と人間と」 ・ふれあいコンサートの開催
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・よこかわ子どもフェスタの開催 ・横川ふれあいまつりの開催 ・まちづくり講演会の開催 テーマ「よこかわの豊かな農業を未来に」 ・ふれあいコンサートの開催 ・地域ビジョンの策定完了



こどもみこし



まちづくり講演会



ふれあいコンサート



子どもフェスタ

4

横川地区の魅力（アンケートから）

地域ビジョン策定に向けたアンケート調査について

■実施期間	平成30年1月1日～平成30年2月2日
■実施対象者	平成30年1月1日現在の 横川地区内世帯（一部自治会未加入世帯を含む）6,187世帯 回収数 3,859世帯 回収率 62.4%
■配布・回収方法	各自治会，小中学校を通して各戸配布，回収
■結果及び内容	下記及び資料編（P23～）のとおり

自然・文化分野

（自然について）

- ・横川地区の自然を今後も残していきたいかとの問いに、87%の人が「とても思う」「思う」と回答しており、地区内の自然に愛着や魅力を感じている様子が窺える。
- ・自由意見として、「昔ながらの豊かな自然を残して欲しい」や「空が広い」「自然が多く残っていて緑が多い」「地域内に残る平地林は貴重である」などの意見があった。

（文化・歴史について）

- ・82%の人が地区内の文化財を今後も残していきたいと回答しており、地区の歴史に対する興味も「ある」「とてもある」が46%で、文化財や歴史に対し概ね前向きな意見が多いが、「どちらでもない」が43%となっていることなどから、一層の周知などが必要であると考えられる。
- ・自由意見として、「地区内の伝統の継承に熱心である」や「地区の歴史，文化財等について，パンフレットを作成してはどうか」などの意見があった。

学校・生涯学習分野

- ・教育の将来目指すべき姿として、「心身ともにたくましい児童・生徒の育成」や「社会学習機会の提供」等の回答が多く、また、実現するために必要なこととして、「地

域内の連携促進」や「地域教育力の向上」等の回答が多いことから、学校に大きく依存した教育でなく、地域で子どもを育てていこうとする意識が高い地域であることが窺える。

交通・生活分野

(交通について)

- ・85%の人が主な交通手段を「自家用車」と回答し、73%の人が交通手段として満足していると回答していることから、自動車で移動することにおいて便利な地区であると考えられる。

(生活について)

- ・87%の人が横川地区を住みやすいと感じており、78%の人がこれからも住み続けたいと回答していることから、住んでいて良かったと高く評価されていると考えられる。
- ・スクールガードをはじめとする子どもの見守り活動が活発であり、75%の人が、子ども、青少年が健全に育成されていると回答していることから、地域で子どもや青少年の健全な育成が行われていると考えられる。
- ・81%の人が、地区内的人是高齢者、子ども、障がい者に対して思いやりがあると回答し、81%の人が支え合い、助け合いが必要であると回答していることから、思いやりのある温かい地区であると考えられる。
- ・64%の人が向こう三軒両隣の付き合いがあると回答し、困ったときに相談できる機関や人がいると回答していることから、比較的人と人の結びつきが強い地区であると考えられる。

産業・農業分野

- ・地元産の野菜を食べたいかの問いに、87%の人が食べたいと回答しているとともに、食べている地元産の農産物も、米や果実よりも「野菜」が1番多いことなどから、近場に豊かな「畑」や「新鮮で美味しい野菜」が存在することを多くの人を知り、欲していることが窺える。
- ・耕作されていない農地を家庭菜園等に利用したいかの問いに51%の人が「思う」「やや思う」と回答していることなどから、農業に関心が高い人が多いことが窺える。

5

横川地区の問題点（アンケートから）

自然・文化分野

- ・地区の歴史に興味があるかの問いに50%の人が「ない」「どちらでもない」と回答している。若い世帯が多い地区であるため、歴史情報等が十分に届いていないことなどが考えられる。

学校・生涯学習分野

- ・児童・生徒が急激に増加している学校もあることなどから、「学校施設などの教育環境の充実」や「学校環境の整備」等が必要との意見が多い。
- ・約40%の人たちが、「地域教育力の向上」や「地域内の連携促進」が地区の子どもたちの教育に必要であると回答している。

交通・生活分野

（交通について）

- ・自動車による移動について便利な地区であるが、アンケートの回答者は20歳台から60歳台が74%であり、今後高齢化が進み自動車の利用者が減少することを考えると、自動車に代わる交通手段、自動車が無くても生活できる環境を考えていく必要がある。

（生活について）

- ・思いやりの心を持ち、近隣の人との結びつきが強い人が多い反面、自治会やまちづくりの活動については、参加したいと思うかという設問に対して40%の人がわからない、16%の人が思わないと回答していることから、まちづくり活動等については消極的な面が覗える。
- ・自然災害に備えて非常食など防災グッズを備えていない人が55%と半数を超え、家族間で非常時の連絡方法を共有していない家庭は50%となっており、また、地区の防災訓練に参加したことがあると回答した人が14%と、防災に関する関心が低いと考えられる。
- ・住まいに消火器を設置していない人も53%と半数を超えており、この点からも防災への関心の低さが覗える。

産業・農業分野

- ・耕作されていない農地を家庭菜園等に利用したいかとの問いに42%の人が「思わない」と答えており、自由意見には「耕作放棄地が増えている」との声もあるなど、ソフト・ハードの両面で耕作放棄地への対応の必要性が窺える。



なの花まつり



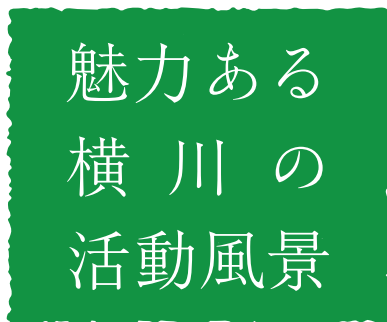
親子のびのび講座



念仏講



横川ふれあいコンサート



夏休みチャレンジ消防教室



横川ふれあいまつり



横川ふれあいまつり地元農産物直売



ことぶきクラブスポーツ大会

6 地域ビジョン重点項目

地域住民を対象としたアンケート調査の検討結果や、地域ビジョン策定委員会の意見等を踏まえ、横川地区で今後取り組むべき9つの地域ビジョン重点項目を設定しました。

1 | 自然を守る



2 | 伝統・文化を守る



3 | 子ども・青少年の健全育成



4 | 「心」と「体」を豊かにする教育と生涯学習の推進



5 | 地域コミュニティの強化



6 | 健康の増進・福祉の充実



7 | 地域の安全・安心の確保



8 | 暮らしやすさに向けた交通手段の充実



9 | 魅力ある農産物の地産地消の推進



1 | 自然を守る

目 標

- 1 定期的な調査を行い記録を保存する
- 2 自然の豊かさを日常的に体験する

具 体 策

(1) 記録・保存する

① 地区内の貴重な自然を見守り続ける

- ・地区の位置，地形の特徴，地質，気候，土地利用，横川のいわれなどを調査し，「地形・風土の記録」を10年毎に更新する
- ・地区の河川，池，沼，田んぼ，銘木，巨木，水辺の生き物など動植物などを調査し，「生物等の概要の記録」を10年毎に更新する
- ・地区の様子や，範囲などを調査し，「地区の概要の記録」を10年毎に更新する

(2) 体験する

① 自然とのふれあいを通して，その大切さを学ぶ

- ・自然（河川，田んぼ，銘木，巨木，水辺の生き物，野生植物など）とふれあう体験を行う



平地林を流れる田川
(うつのみや百景)



下栗大塚古墳
(宇都宮市指定文化財)

2 | 伝統・文化を守る

目 標

- 1 文化財の発掘・調査を行う
- 2 定期的な調査を行い記録を保存する
- 3 伝統的な行事等を継承する

具 体 策

(1) 発掘・調査を行う

- ① 地区内でまだ見いだされていない文化財に関する定期的な調査をする
 - ・地区に埋もれている、古墳や文化財、銘木などを発掘・調査して保全する

(2) 記録・保存する

- ① 地区内の文化財が忘れられることがないように記録し、保存する
 - ・地区、町内、講、家庭での行事やお祭りごとなどを調査し、「年中行事（生活）の記録」を10年毎に更新する

(3) 継承する

- ① 貴重な伝統、文化財を連綿と引き継いでいく
 - ・地区の良き伝統、文化、行事やお祭りごとなどを、地区全体で考え守り、継いでいく



下栗1丁目天棚



箱 絵

3 | 子ども・青少年の健全育成

目 標

子ども・青少年を健やかに育て、見守る

具 体 策

(1) 地域で子育てに取り組み，子育て家庭や親子が集い，活動する場づくりを進める

① 子育て家庭に声を掛け合ったり，相談にのったり多世代の交流を進める

- ・見守り活動の推進
- ・子育て家庭に気軽に声を掛け合えるような近隣関係の醸成 など

② 気兼ねなく集まり，相談，交流する場づくりを進める

- ・宮っこステーション事業の推進（子育てサロンの充実等）
- ・子育て家庭が参加しやすいイベント事業等の実施 など

(2) 青少年が地域での関わる機会，居場所づくりを進める

① 青少年にとって興味のある行事等を企画すると共に，地域ボランティア活動への関わりへのきっかけにつなげる

- ・子ども会活動の充実
- ・地域イベントでのボランティア活動の拡充
- ・ふれあいコンサートなどの充実
- ・地域協議会やPTA等の関わりの拡充
- ・昔あそび教室等の充実
- ・各自治会で行われる行事などへの積極的な参加
- ・伝承事業等への積極的な参加 など



子育て広場



青少年育成会



子どもフェスタ

4 「心」と「体」を豊かにする教育と生涯学習の推進

目 標

- 1 豊かな心身を育む地域教育の実践及び地域教育力の強化
- 2 健康や生きがいづくりに結び付くスポーツの普及

具 体 策

(1) 教育

① 心身共にたくましく確かな学力を身につけた児童生徒の育成

- ・児童生徒が地域の行事等に積極的に参加することなどにより、地域として児童生徒の社会性を育む環境づくりを行う
- ・確かな学力を身につけるための、地域として可能な仕組みづくりを行う
- ・子育て世代が住みよい環境づくりへ支援を行う など

(2) スポーツ

① 健康づくりに向けたスポーツ関連行事への積極的参加促進

- ・地域内スポーツクラブの行事等に多くの住民が参加するようPRを行う
- ・ひとり1スポーツの推進 など

(3) 生涯学習

① 子どもから高齢者まで誰もが学べる環境づくり

- ・多種多様な学習機会の創設
- ・地域課題や現代的課題への主体的取組の推進 など



スキー教室



ことぶき塾館外学習



稲刈り

5 | 地域コミュニティの強化

目 標

人と人との助け合い，地域のつながりを深める

具 体 策

(1) 多くの人々が交流を深め，支え合えるような土壌づくりを進める

- ① 一人ひとりが互いに声を掛け合うなど，普段から，交流の広がり・深まりを目指した取り組みを心がける

- ・あいさつ運動の推進
- ・ありがとう運動に取り組み，広げる など

- ② 世代を超え，多くの人々が出会え，交流する場づくりを進める

- ・地域を挙げたイベント（ふれあいまつり等）の充実
- ・自治会ごとの祭りなどの推進
- ・多くの場面で交流を促すような仕組みや機会の創出 など

(2) 自治会加入の促進

- ① 地域コミュニティの維持・強化を図るため，一層の自治会加入促進に取り組む

- ・自治会活動や各種コミュニティ活動の周知や広報に努める
- ・連自治会と各単位自治会が協力しながら，加入促進を進めていく など



横川地区合同総会



地域ビジョン策定委員会



体育祭

6 健康の増進・福祉の充実

目 標

- 1 要支援者への様々な支援に取り組む
- 2 健やかにいきいきと生活できる健康社会を目指す

具 体 策

(1) 支援を必要とする人たちを地域で支え、健康社会の実現を目指す

- ① 地域の人たちが、相談や保健、福祉の担い手となるなど、地域の福祉力を高める

- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- ・ 要介護者支援制度の充実
- ・ ふれあい配食活動の推進
- ・ 安全医療情報キットの周知、拡充
- ・ サロン活動の普及啓発
- ・ 訪問活動、見守り活動の拡充
- ・ 介護事業の拡充
- ・ 障がい者に関する活動の拡充
- ・ 子どもに対する健康、福祉活動の拡充
- ・ 福祉のまち「よこかわ」に向けての機運の醸成 など



ふれあいまつり健康測定

- ② 健康プログラムづくりと、普段から健康状態の管理意識の向上を心がける

- ・ 健康維持、病気予防に向けた活動の拡充
- ・ 健康体操の普及促進
- ・ ウォーキング活動の拡充
- ・ 食生活の改善に向けた活動の拡充
- ・ 健康寿命の延伸に向けた活動の拡充
- ・ 健康ポイント事業への積極的な参加
- ・ 生活習慣病の予防のための活動の拡充 など



歩け歩け大会



社会福祉協議会車いす体験

7 | 地域の安全・安心の確保

目 標

災害・犯罪等から暮らしを守る

具 体 策

(1) 防災、防犯等に係る情報等の入手・発信・共有の仕組みを整え、地域住民の安全、安心な暮らしを守る

- ① 高齢者や障がい者等、災害時等の要援護者に係る情報を日常的に把握すると共に発信、共有する地域のネットワークを構築する

- ・横川地区防犯ネットワークの拡充
- ・災害時要援護者支援制度の充実
- ・地域警邏活動の強化
- ・下校時の防犯パトロールの強化
- ・地域の環境点検の強化
- ・交通安全運動への積極的な参加
- ・カーブミラーの設置促進及び点検の強化
- ・火災予防のための活動の強化
- ・消防団との連携強化
- ・空家対策の強化
- ・高齢者の詐欺被害防止活動の強化
- ・地元警察との連携の強化
- ・河川災害等に係る備えの充実 など



地域防犯運動



AED訓練



交通安全運動



環境点検



地域防犯運動



消火訓練

8 | 暮らしやすさに向けた交通手段の充実

目 標

暮らしやすさに向けた多様な交通手段の導入を目指す

具 体 策

(1) 高齢者の増加などを見据え、充実した交通手段を検討し、実現を目指す

- ① 地域内交通の更なる利用拡大に努める
 - ・ 様々な機会を利用し、PRを行い利用者の拡大に努める
 - ・ 利用者の要望等を把握し、サービス向上に努める
 - ・ 他地区の例を研究する など
- ② ミニバス等の公共交通の地域内循環に向けた取組を進める
 - ・ 住民の要望等を把握する
 - ・ 他地区の例を研究する
 - ・ 様々な機会を捉えて必要性を積極的に発信する など



よこかわいきいき号



地域内交通申込コーナー

9 魅力ある農産物の地産地消の推進

目 標

地元の農産物を身近に食べることができる環境を構築する

具 体 策

(1) 販売所、直売所の充実

- ① 既存の直売所の P R を積極的に行う
 - ・ 広報「よこかわ」を利用して P R する
 - ・ ホームページを利用して P R する
 - ・ 地域のイベント等の場を利用して P R する など
- ② 直売所の数を増加させる方策を検討する
 - ・ 直売所経営の希望を持っている農業者を把握する
 - ・ 土地の提供希望者を把握する
 - ・ 6次産業化に係る研究を進める
 - ・ インショップの需要や可能性について調査を進める など
- ③ 消費者の農産物に係るニーズを把握する方策を検討する
 - ・ 地域のイベント等で来場者から希望等を聴取する
 - ・ インターネットや SNS の活用などによる情報収集・発信力強化の検討を進める など



横川っぺ直売所



J A 直売所



横川ふれあいまつり

7

地域ビジョン実践への提言

横川のまちを、これまで以上に「住んでいてよかった」と思えるようにしていくためには、地域ビジョンに掲げられた9つの「重点項目」を計画的かつ着実に実践していく必要があります。

そのためには、横川地区まちづくり協議会を構成する各種団体等が連携してオール横川で地域ビジョンを実践する組織の構築を考えることが重要であると言えます。できるだけ早い時期に組織を立ち上げることを提言いたします。

横川地区地域ビジョン策定委員会

組織イメージ

横川地区まちづくり協議会

地域ビジョンを実践する部会

- | | | |
|----------------|------------------|------------------|
| ・ 連合自治会 | ・ 消防団横川分団 | ・ 青少年巡回指導員 |
| ・ 防災会 | ・ 婦人防火クラブ | ・ P T A |
| ・ 社会福祉協議会 | ・ 地域内交通運営委員会 | ・ 魅力ある学校づくり地域協議会 |
| ・ 民生委員児童委員協議会 | ・ 地域づくり推進協議会 | ・ まち協環境部会横川エ |
| ・ 交通安全協会 | ・ よこかわ地域包括支援センター | ・ コの会 |
| ・ 防犯協会 | ・ 横川スポーツクラブ | ・ 小中学校 |
| ・ 青少年育成会 | ・ こどもとふれあう会 | ・ 警察 |
| ・ 体育協会 | ・ 青少年指導員 | ・ J A |
| ・ ことぶきクラブ | ・ スポーツ推進員 | ・ など |
| ・ 健康づくり推進連絡協議会 | | |

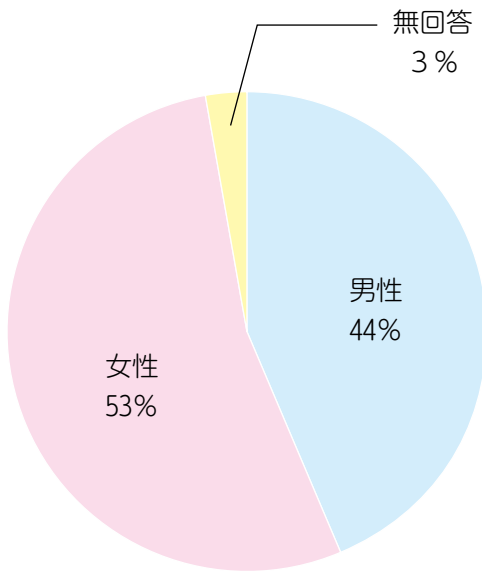
8

参考資料

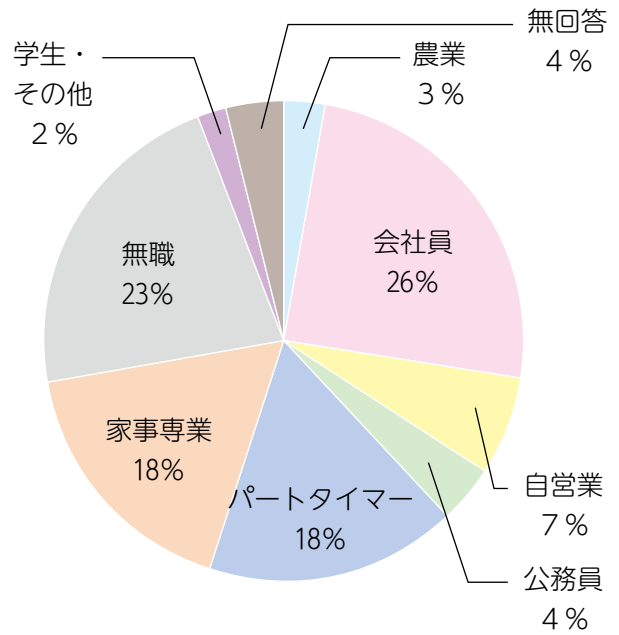
- ・ 住民アンケートの結果 24
- ・ 地域ビジョン策定の経緯 40
- ・ 地域ビジョン策定委員会委員名簿 41

地域ビジョンアンケート結果

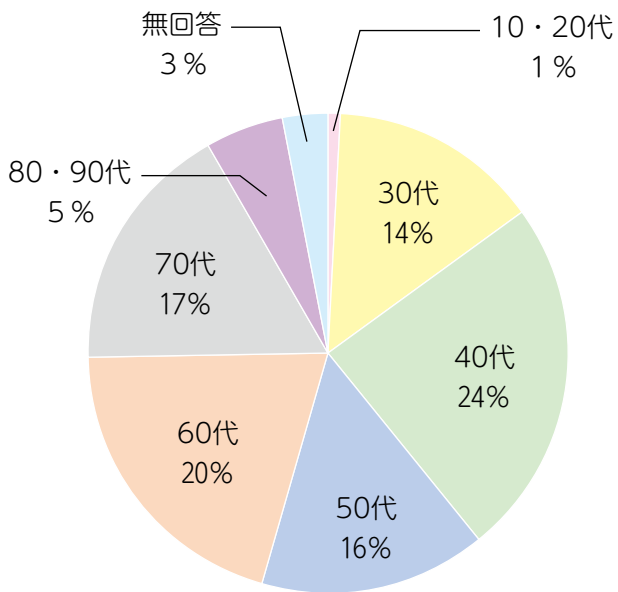
設問 1 性別



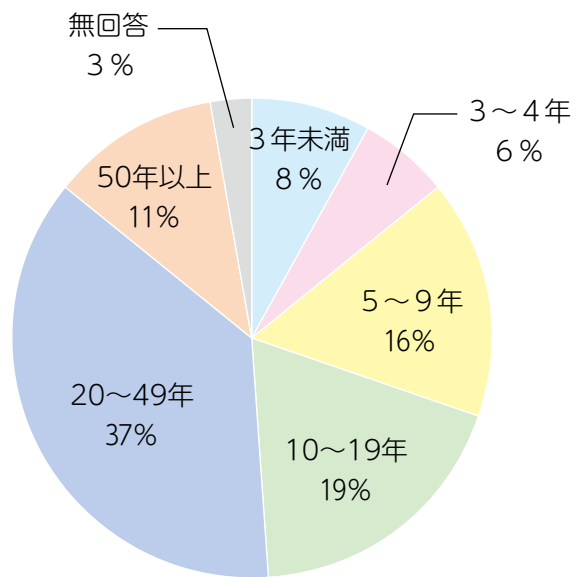
設問 2 職業



設問 3 年齢



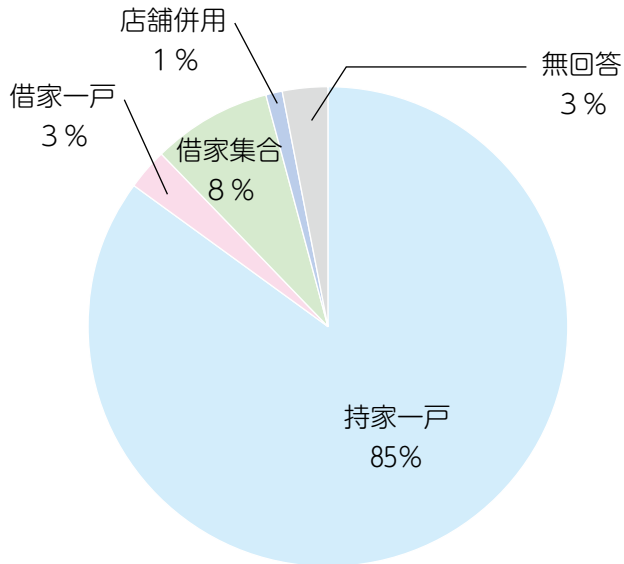
設問 4 居住年数



地域ビジョンアンケート結果

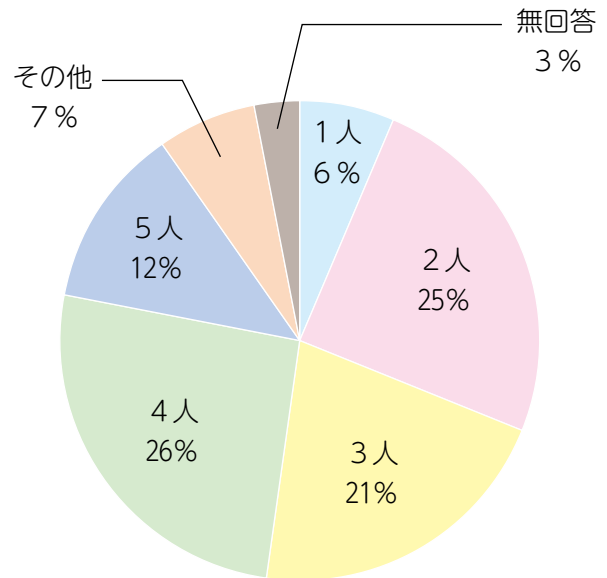
設問
5

住居タイプ



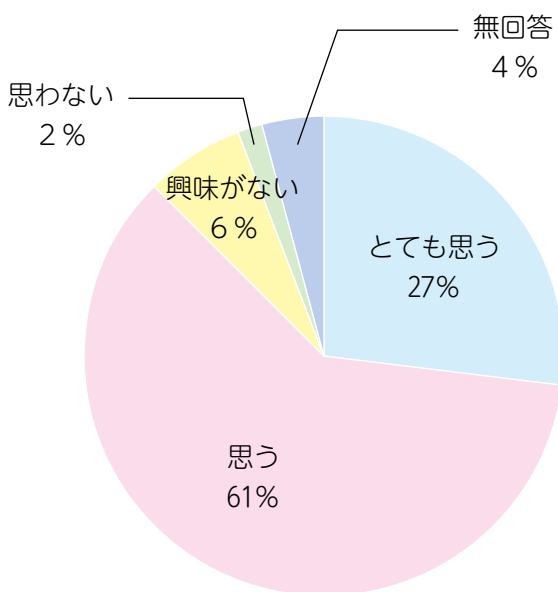
設問
6

家族人数



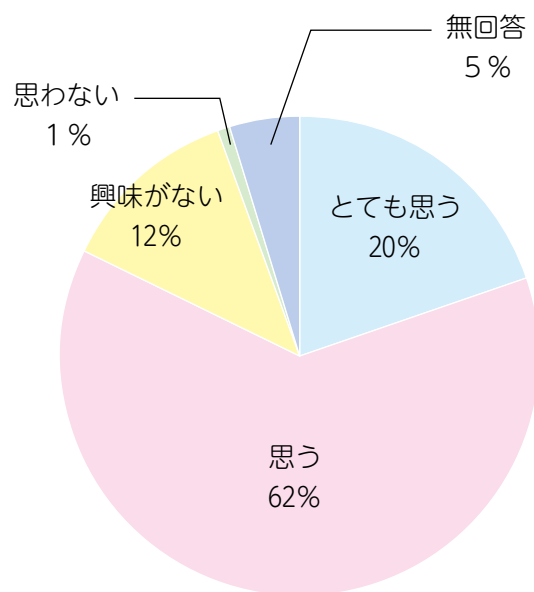
設問
7

自然を残していきたいか



設問
8

文化財を残していきたいか

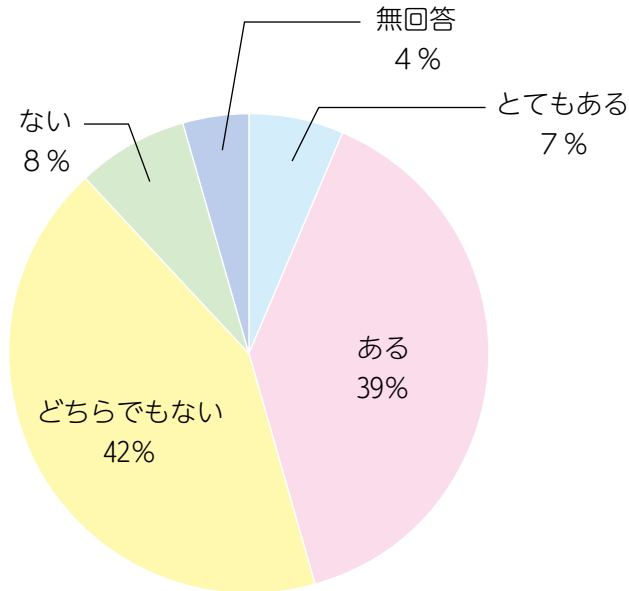


地域ビジョンアンケート結果

設問

9

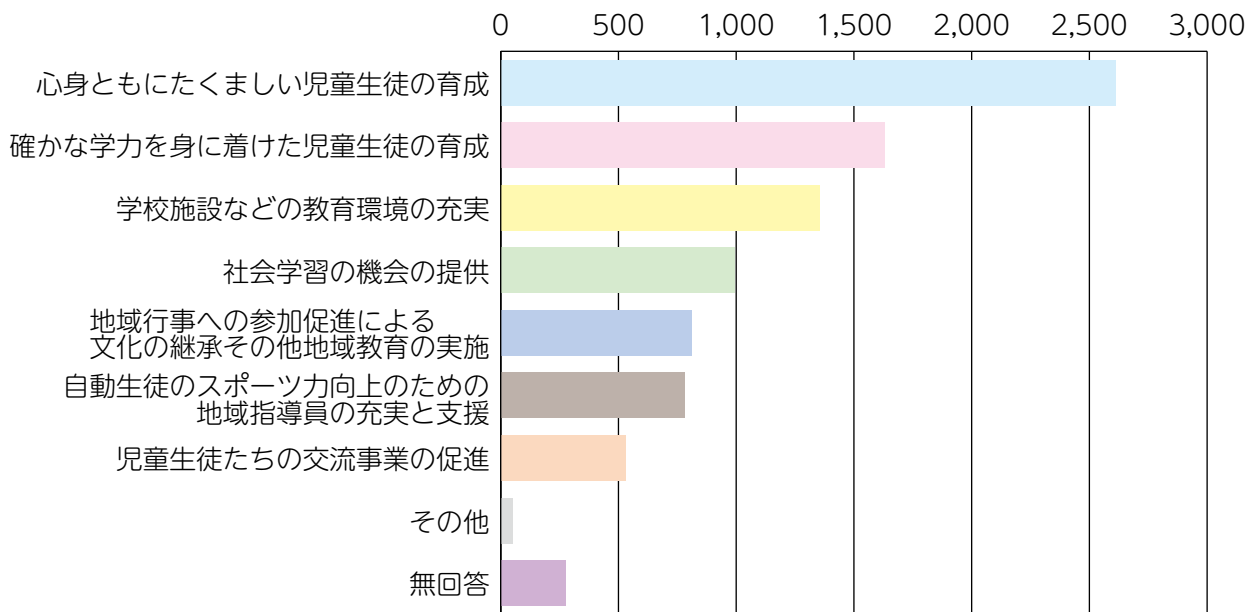
地区の歴史に興味があるか



設問

10

地区の教育の将来目指すべき姿

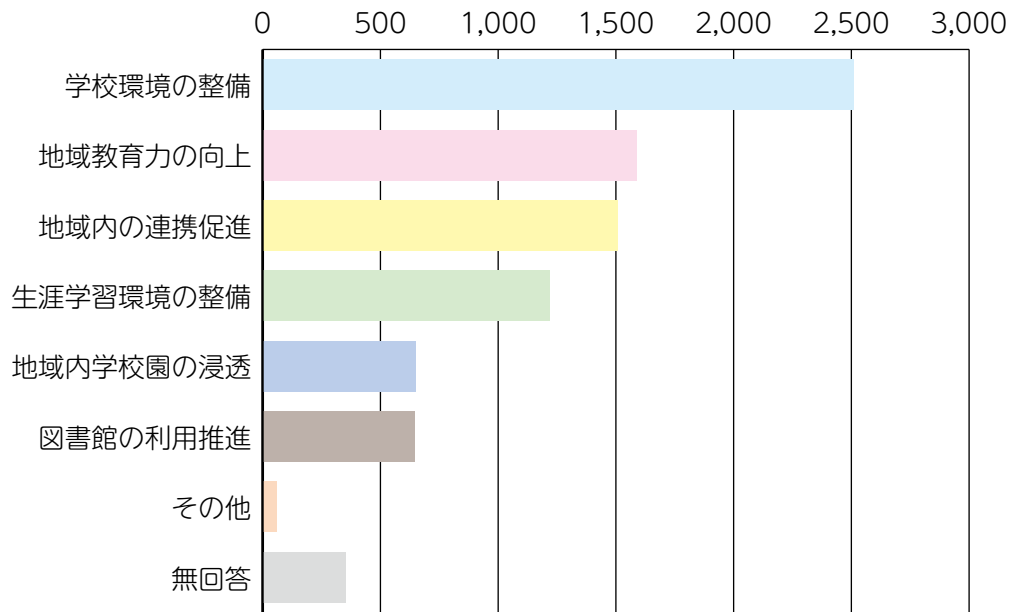


地域ビジョンアンケート結果

設問

11

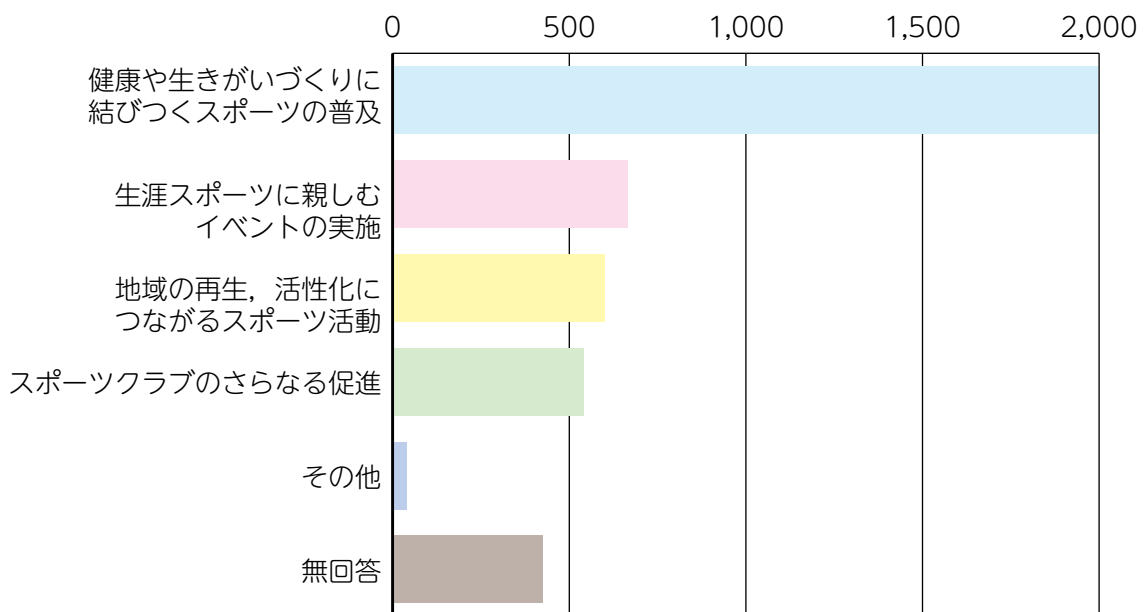
設問10の教育を実施するために必要なこと



設問

12

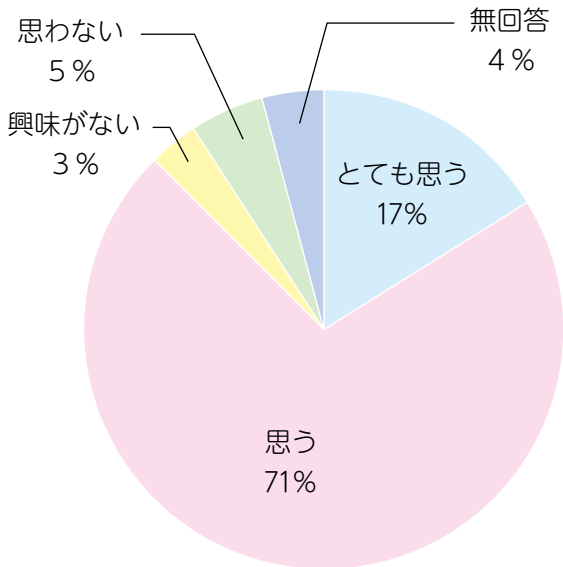
地区のスポーツ分野の将来目指すべき姿



地域ビジョンアンケート結果

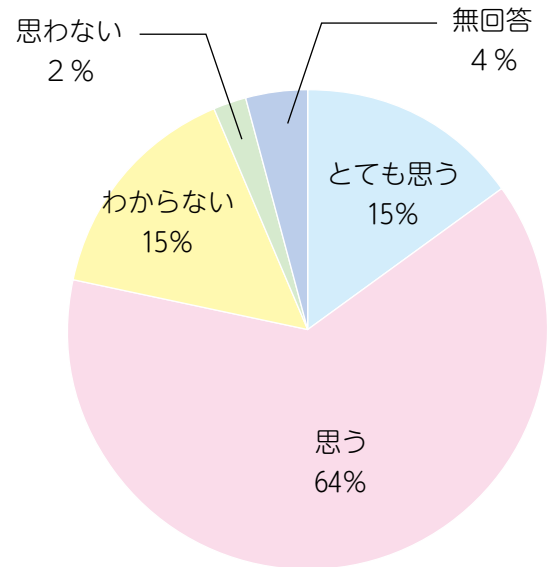
設問
13

住みやすい地区だと思うか



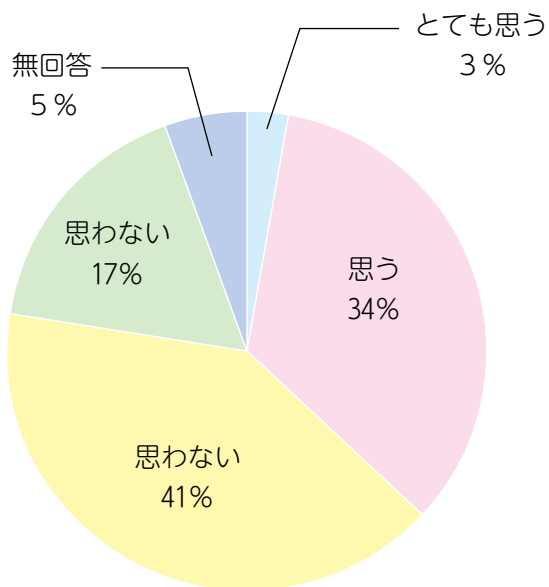
設問
14

地区にこれからも住みたいか



設問
15

自治会やまち協の活動に参加したいと思うか

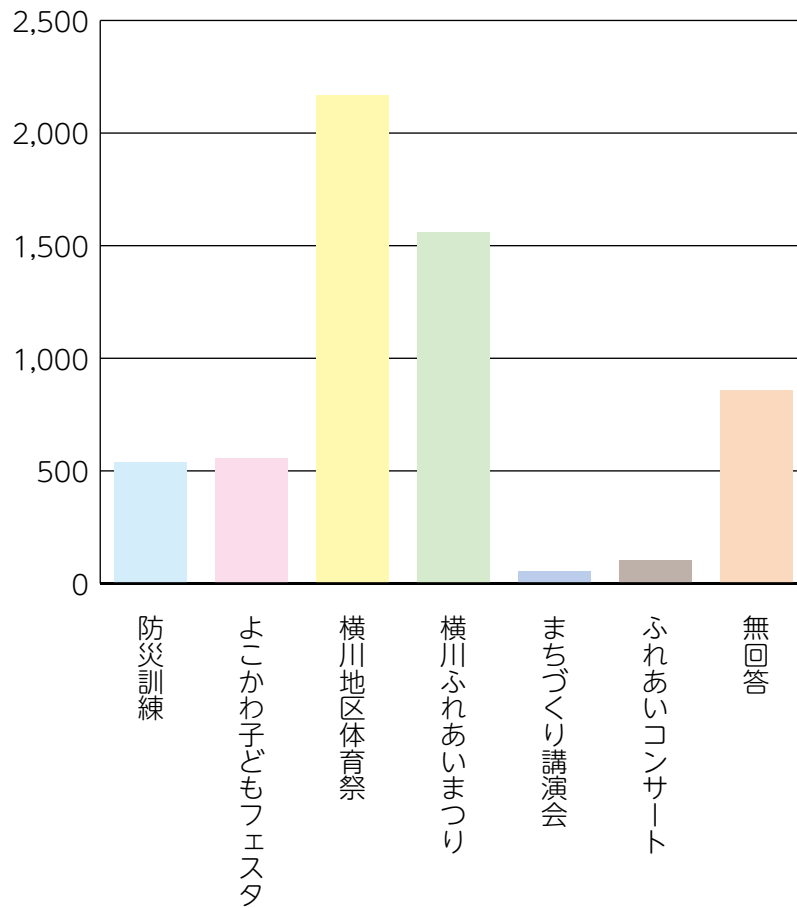


地域ビジョンアンケート結果

設問

16

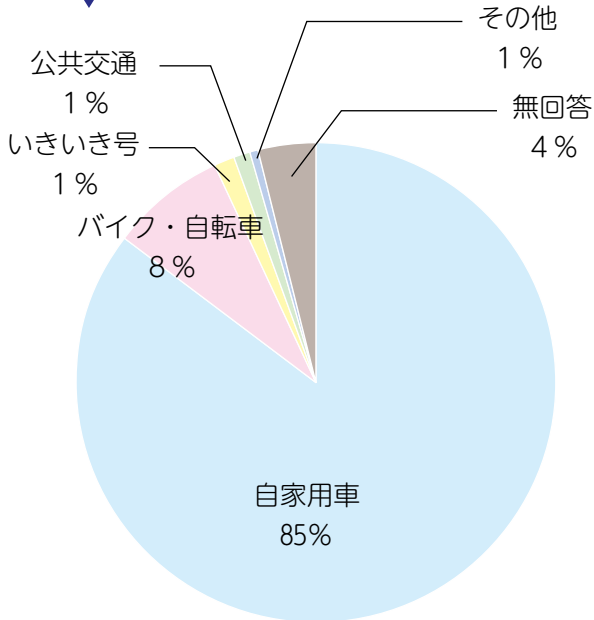
参加したことがある地区の行事



地域ビジョンアンケート結果

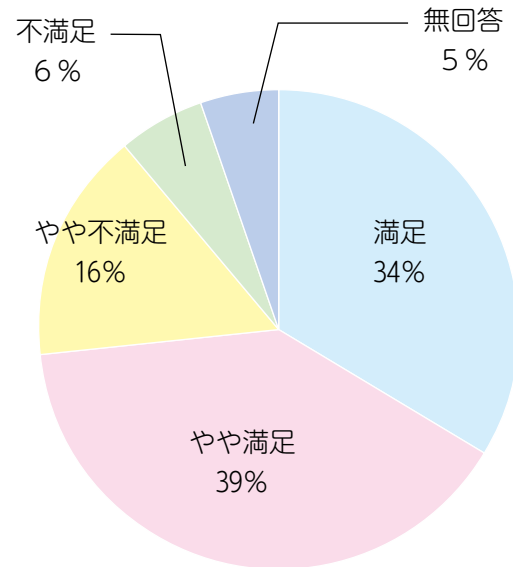
設問
17

主な移動手段



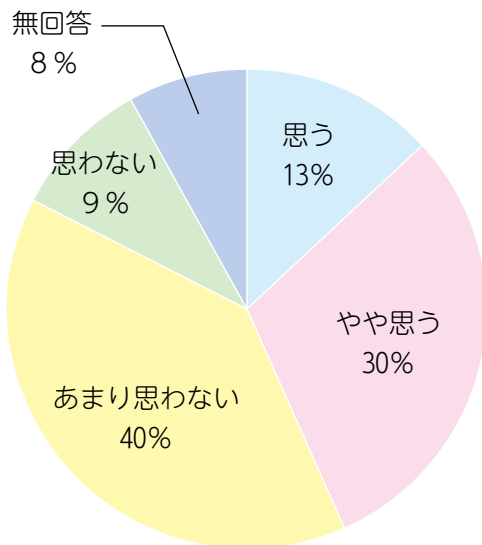
設問
18

交通手段の満足度



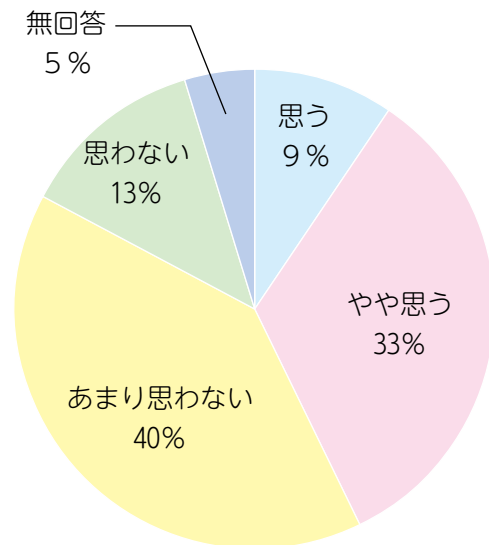
設問
19

交番の活動は十分だと思うか



設問
20

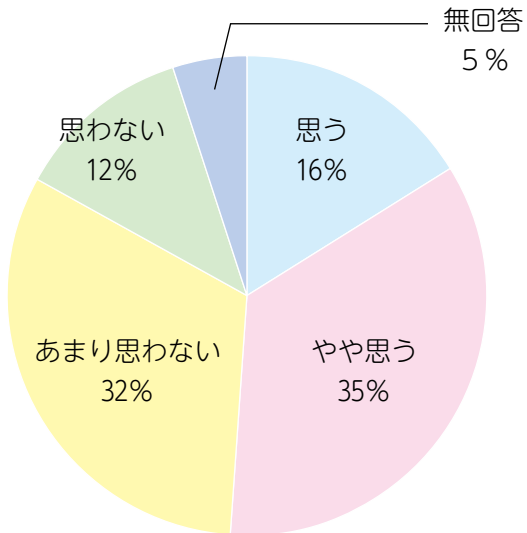
普段利用している道路は安全だと思うか



地域ビジョンアンケート結果

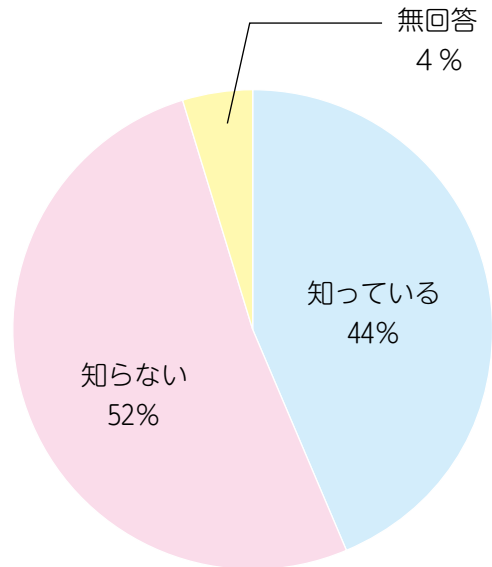
設問
21

地区内の防犯灯の設置状況は
十分だと思うか



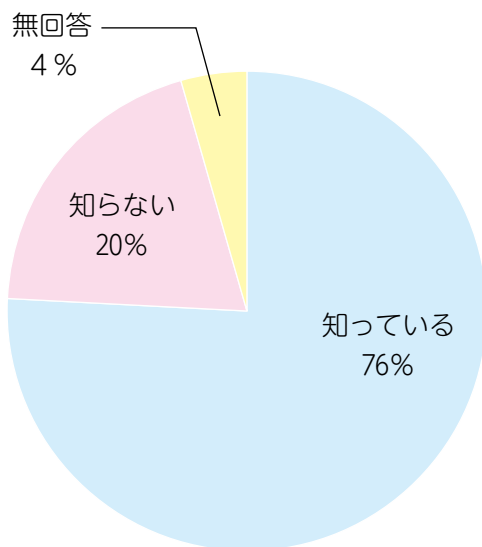
設問
22

青色回転灯自動車パトロール
を知っているか



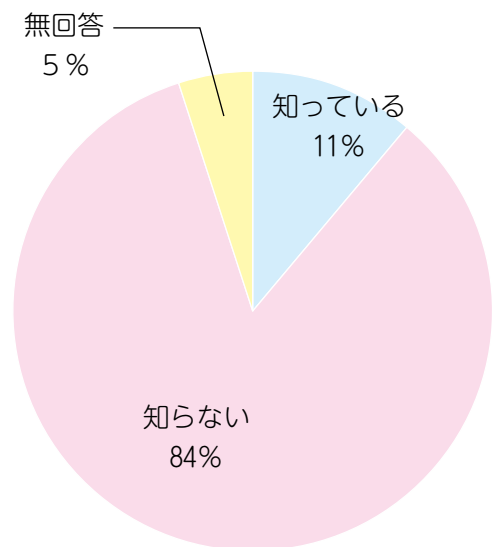
設問
23

スクールガード（見守り隊）
を知っているか



設問
24

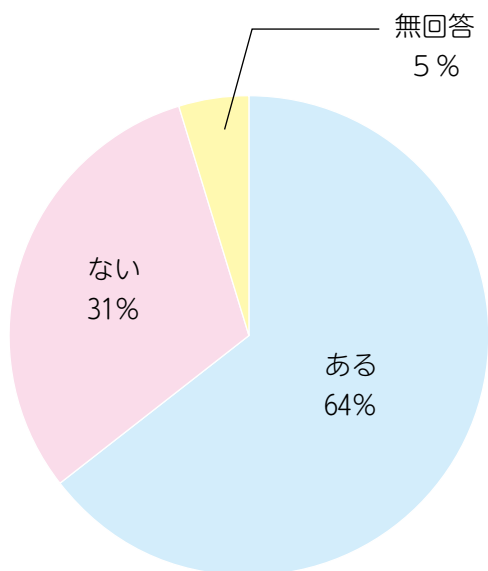
防犯ネットワーク（8団体）
を知っているか



地域ビジョンアンケート結果

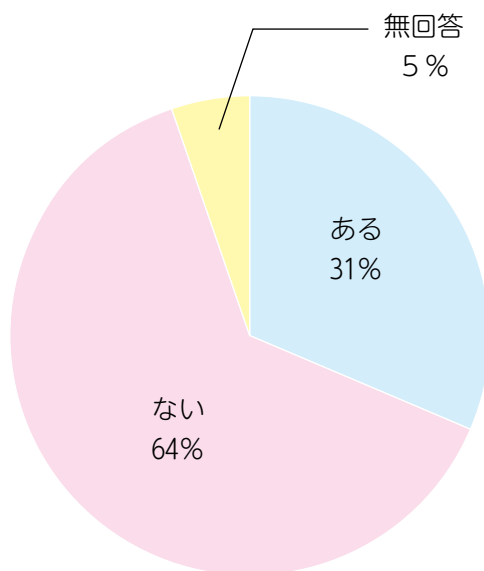
設問
25

向こう3軒両隣の付合いはあるか



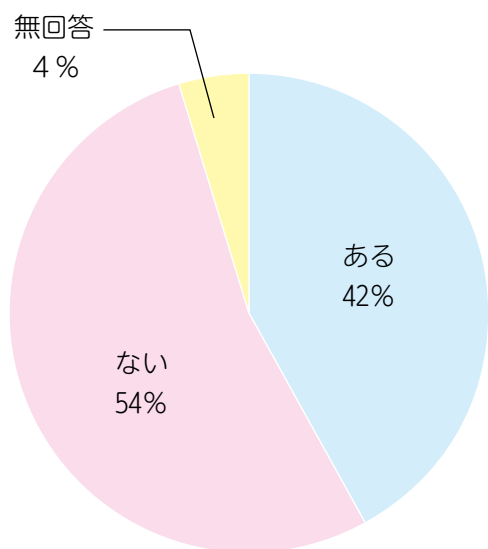
設問
26

住まいの近くに空き家はありますか



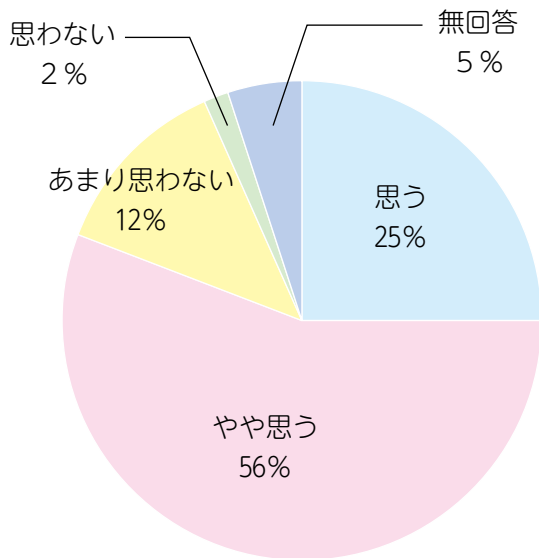
設問
27

住まいに消火器は備えてあるか

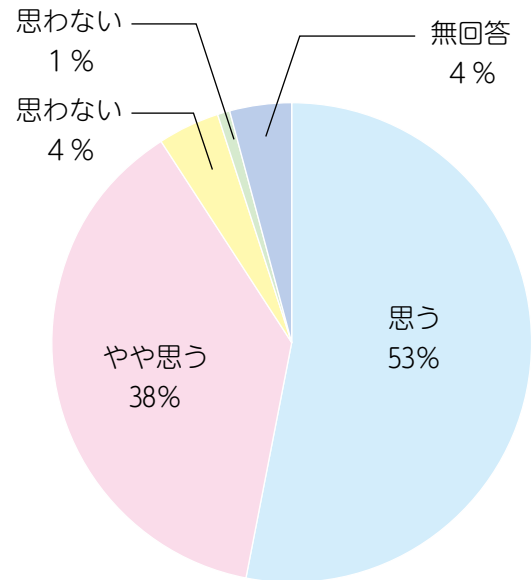


地域ビジョンアンケート結果

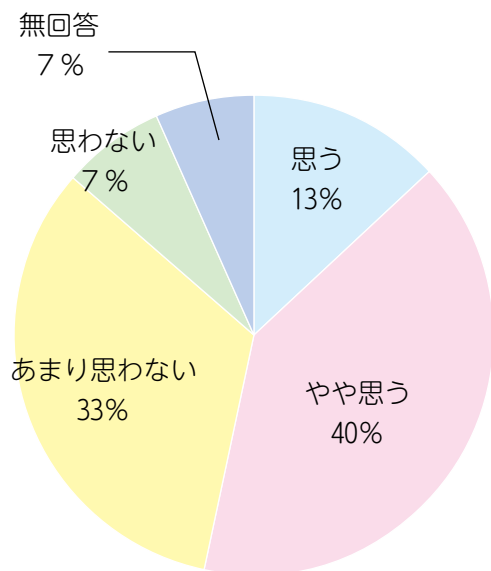
設問 28 自分は高齢者、子ども、障がい者に思いやりがあるか



設問 29 支え合い、助け合い、ふれあいは必要だと思うか



設問 30 医療、介護施設は充実していると思うか

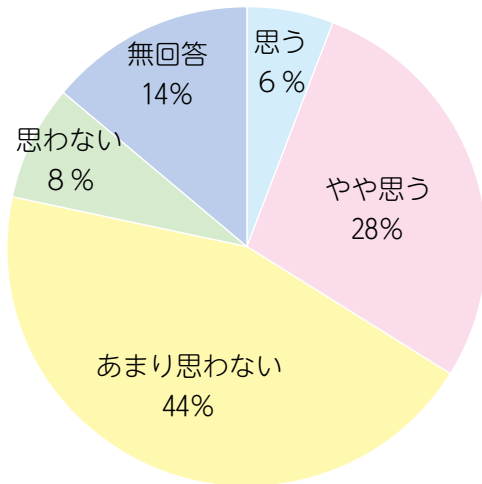


地域ビジョンアンケート結果

設問

31

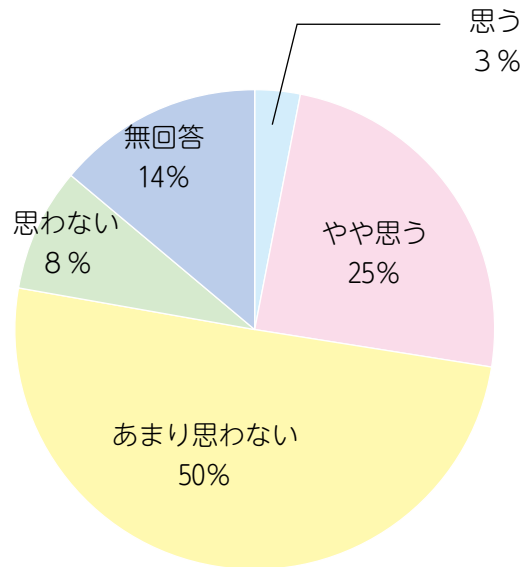
一人暮らし高齢者の見守り活動は十分だと思うか



設問

32

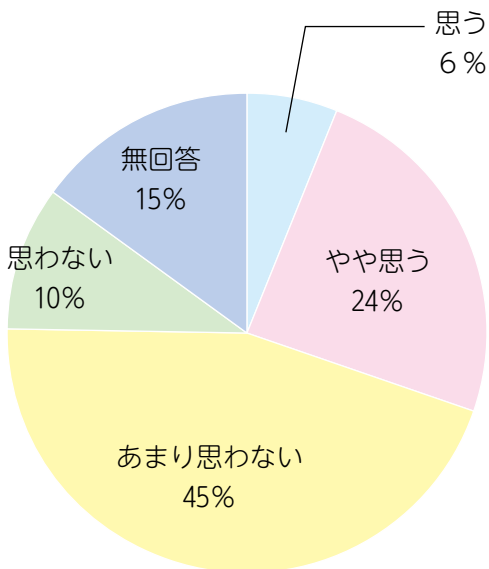
障がいのある方への理解が進んでいると思うか



設問

33

生活困窮者への行政の自立支援は十分だと思うか

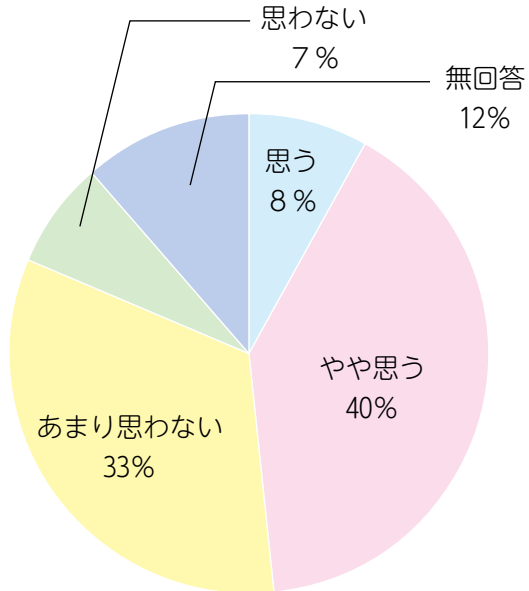


地域ビジョンアンケート結果

設問

34

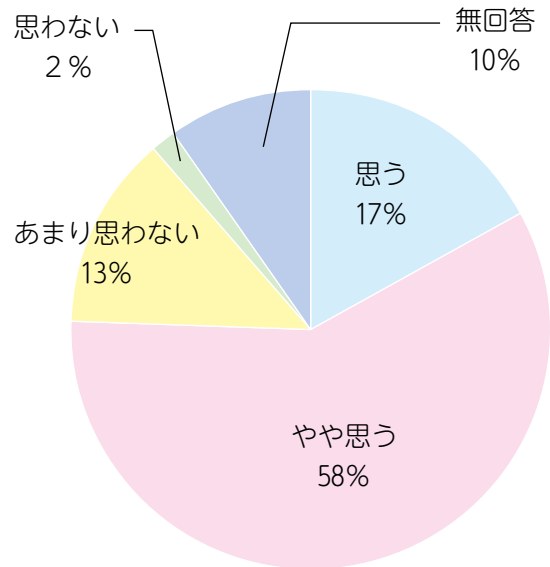
子育て環境、保育所等の体制は充実していると思うか



設問

35

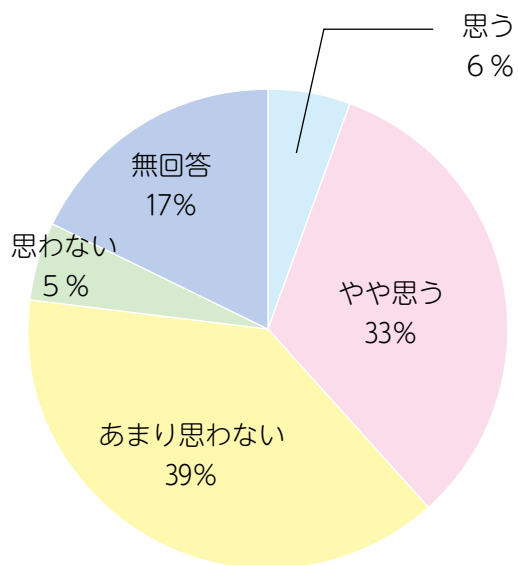
子ども、青少年は健全に育っていると思うか



設問

36

ひとり親家庭への行政の支援は十分だと思うか

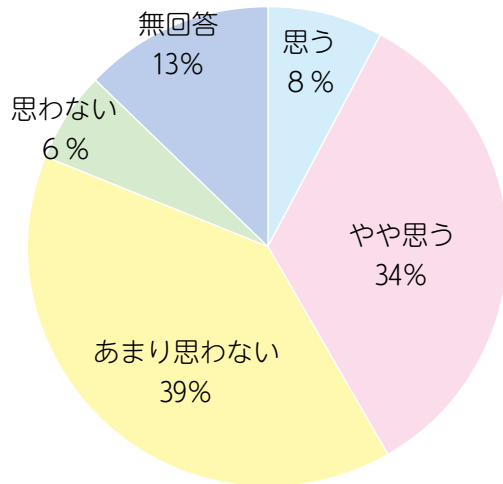


地域ビジョンアンケート結果

設問

37

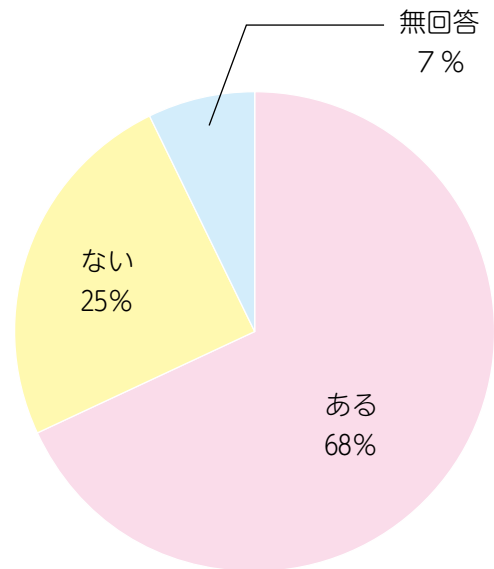
ボランティア活動は
活発だと思うか



設問

38

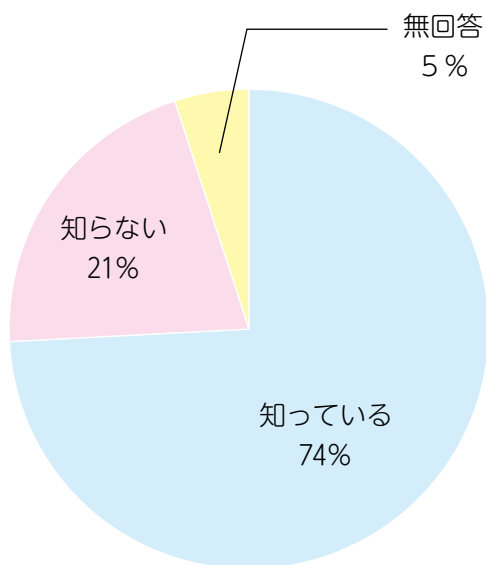
困り事を相談する人、
機関はあるか



設問

39

住んでいる地区の避難場所
を知っているか

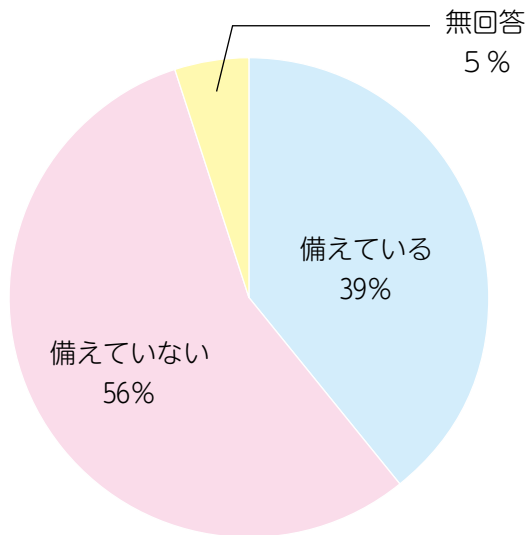


地域ビジョンアンケート結果

設問

40

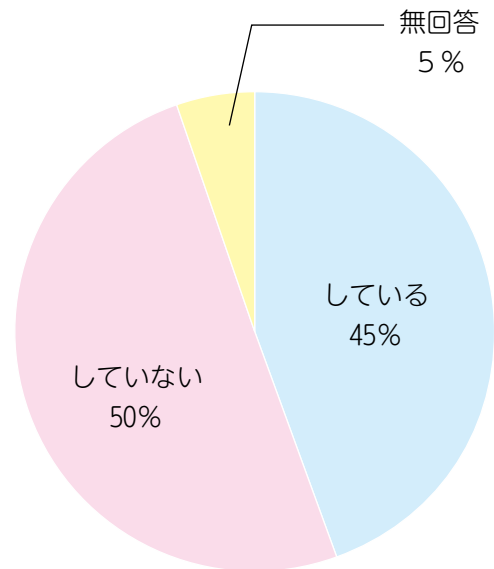
非常食，その他防災グッズ
を家に備えているか



設問

41

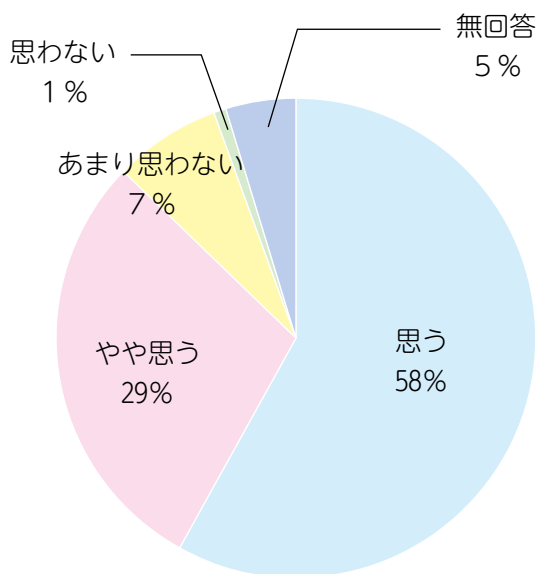
家族間で非常時の連絡方法を
共有認識しているか



設問

42

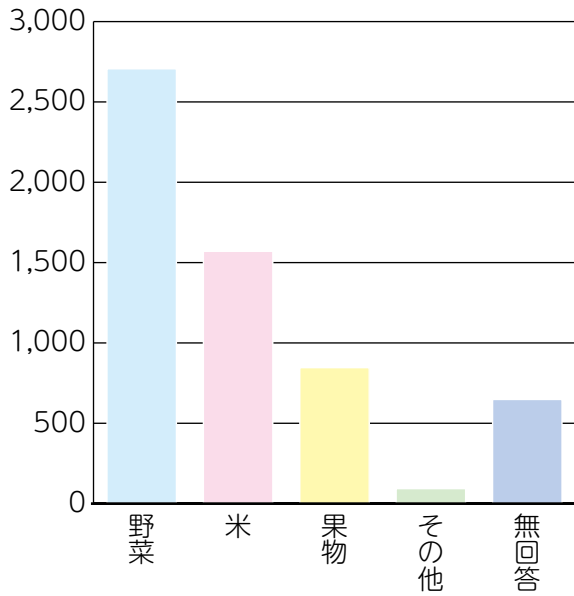
地元産の野菜を食べたいと
思うか



地域ビジョンアンケート結果

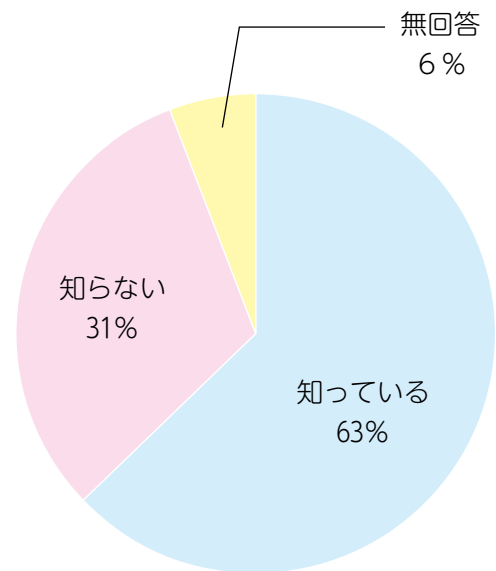
設問
43

食べている地元産の農作物を教えて欲しい



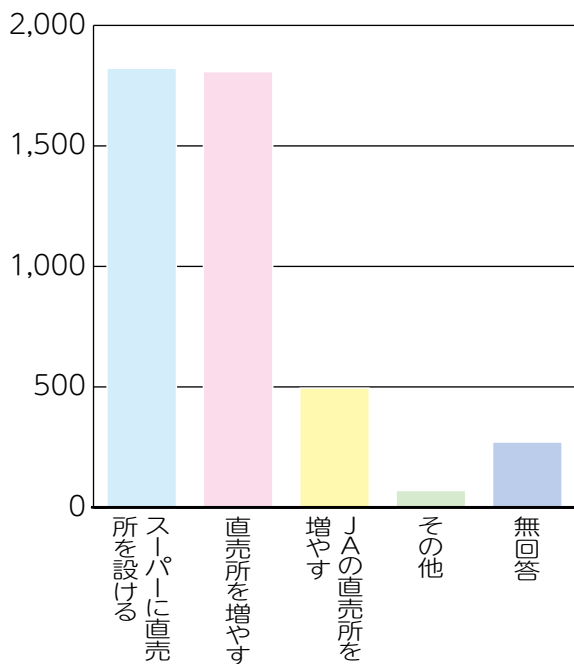
設問
44

地産地消活動を知っているか



設問
45

地元の農産物を食べるにはどのような方法が良いか

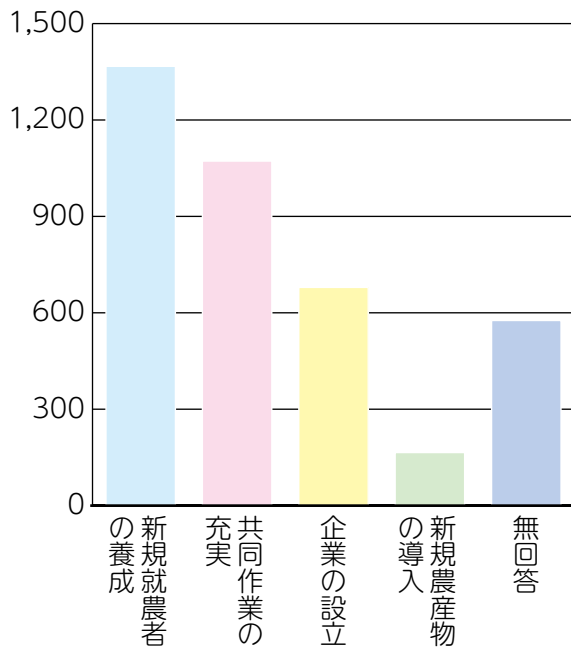


地域ビジョンアンケート結果

設問

46

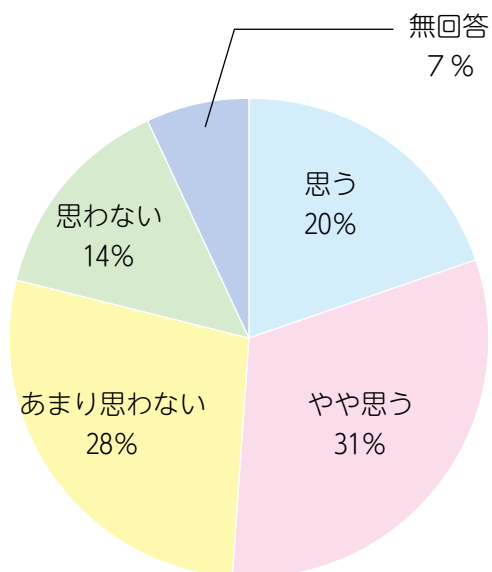
農業後継者の減少を防ぐには
どのようなことが必要か



設問

47

耕作されていない農地を
家庭菜園等に利用したいか



横川地区地域ビジョン策定の経緯

年 度	月	内 容
25年度	6	・横川地区地域ビジョン検討委員会設立 ・地区内の見学（自然，文化財など）
	2	・まちづくり講演会（先進地域の地域ビジョン 講師：井上好昭氏） ・研修会（地域カルテについて 講師：西山弘康氏）
26年度	5	・地区内博識者6名による座談会 ・他地区の事例研究，分野別の検討
	6	・地区内商業施設見学及び講演（商業施設について 講師：高岡耕子氏）
	9	・分科会設置 「自治・自然文化部会」「学校，生涯学習部会」「交通，生活部会」 「産業，農業部会」
	12	・先進地域視察（清原地区）
	1	・策定スケジュール検討 ・まちづくり講演会（地域ビジョンの必要性 講師：高岡耕子氏）
27年度	4	・部会毎に随時ミーティング開催（～3月） ・地域ビジョン策定委員会設立検討 ・地域ビジョン策定委員会設立
	3	・リーダー会議（各分科会のリーダー，サブリーダーで構成）
28年度	4	・地域ビジョン策定委員会（スケジュール，分科会別会議） ・リーダー会議随時開催（～3月） 地区内調査，地区内調査内容報告，地域カルテ作成， スケジュール検討 他 ・部会毎に随時ミーティング開催（～3月）
	2	・地域ビジョン策定委員会（NCCについて 講師：市都市計画課）
29年度	4	・リーダー会議随時開催（～3月） 地域カルテ作成，アンケート実施方法検討，アンケート項目検討 ・部会毎に随時ミーティング開催（～3月）
	10	・地域ビジョン策定委員会（アンケート実施について）
	1	・アンケート実施
	2	・アンケート集計（～3月）
30年度	4	・リーダー会議随時開催（～3月） アンケート結果分析，ビジョン案検討，作成 ・部会毎に随時ミーティング開催（～3月）

横川地区地域ビジョン策定委員会名簿

役員

役職名	氏名	所属団体等
会長	浜崎 克司	屋板町自治会
副会長	中村 晴彦	東横田町自治会
副会長	白井 千七子	さるやま団地自治会
事務局長	隈崎 巖	連合自治会事務局長

自治・自然文化部会

役職名	氏名	所属団体等
部会長	篠塚 邦善	市消防団本部分団副分団長
部会員	中村 晴彦	東横田町自治会
部会員	豊田 善作	公募委員
部会員	白井 千七子	さるやま団地自治会
部会員	岡田 好枝	婦人防火クラブ会長
部会員	大垣 講一	公募委員
部会員	隈崎 巖	連合自治会事務局長

学校・生涯学習部会

役職名	氏名	所属団体等
部会長	伊倉 博	横川スポーツクラブ企画部会委員
部会員	小島 啓子	健康づくり推進連絡協議会会長
部会員	村田 千佳	公募委員
部会員	須永 栄一	青少年育成会顧問
部会員	鈴木 純子	公募委員
部会員	中山 義彦	公募委員
部会員	岡田 泰明	地域内交通運営委員会委員長

交通・生活部会

役職名	氏名	所属団体等
部会長	伊東 英典	防犯協会事務局
部会員	森 佐知子	南交通安全協会横川支部
部会員	阿部 靖	社会福祉協議会会長
部会員	大金 幸一	民生委員・児童委員協議会
部会員	佐藤 尚	ことぶきクラブ連絡協議会副会長
部会員	早乙女 勝志	地域内交通運営委員会広報宣伝部長
部会員	佐藤 亜紀子	よこかわ地域包括支援センター所長

産業・農業部会

役職名	氏名	所属団体等
部会長	篠崎安男	農政対策協議会
部会員	佐藤和子	JAみどり会支部長
部会員	浜崎克司	屋板町自治会
部会員	大塚美恵子	砂田町自治会
部会員	水間俊子	公募委員
部会員	石川満	公募委員

地域ビジョンアドバイザー

アドバイザー	高岡耕子	下栗4丁目自治会
--------	------	----------

横川地区 地域ビジョン 「横川の豊かさを未来に。」

〈発行日〉平成 31 年 3 月

〔発行元〕 横川地区まちづくり協議会
〒321-0112

宇都宮市屋板町 576 番地 1 (横川地区市民センター内)
〔印 刷〕 藤崎印刷株式会社